

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 月・2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(近代中国と日本) <b>Society and History</b> (Modern China and Japan)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 楠瀬 正明 / Eメールアドレス: <a href="mailto:masaku@nagasaki-u.ac.jp">masaku@nagasaki-u.ac.jp</a> / 研究室: 教育学部 609 号室 /TEL: 819-2303 /オフィスアワー: 火 15:00~16:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標(500文字) 授業のねらい: 日本と中国との長い歴史的關係のなかで、近代の兩國の關係がどのような位置をしめるか、どのような問題点や課題があったのかを把握することをめざす。 授業方法: 毎回、テーマを設定して講義する方法をとる。必要に応じてビデオを利用する。 授業到達目標: 1、日本と中国の近代という時代の特徴を理解すること。 2、対立・抗争した近代の日中關係においても友好と連帯をめざした動きがあったことを把握する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)(1300文字) 授業内容(概要) 開国をめぐる兩國の相違、兩國の近代化の試みの相違、戦争のもたらす影響等について学びながら、近代における日中關係のさまざまな問題点について考える。  第 1回 ガイダンス 第 2回 中国史の概観 第 3回 前近代の日中關係の概観 第 4回 開国をめぐる日中兩國の相違 第 5回 共同租界: 上海の近代都市化 第 6回 日中兩國の近代化をめぐる試み 第 7回 日清戦争と台湾 第 8回 孫文と日本 第 9回 第一次世界大戦と日本・中国 第10回 五四運動から国民革命へ 第11回 満州事変と満州国の樹立 第12回 日中戦争 第13回 満州農業移民 第14回 日本の敗戦と中華人民共和国の成立 第15回 授業のまとめ(試験を含む)			
キーワード	ナショナリズム、戦争と革命、近代化		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。毎回、レジュメを配布する。参考書は適宜、指示する。		
成績評価の方法・基準等	小テスト 20%、レポート 20%、最終試験 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	アジアの問題を見る視点を養ってほしい。		
備考(準備学習等)			